

旧清掃工場貯じんピット内汚染物質検出に伴う、当時の職員の ヒアリング結果について

1. 概要

新中間処理施設敷地造成工事の実施に伴い、構造物を撤去したところ、旧清掃工場の貯じんピットが残置されていることが判明しました。当該ピットについては、内部が土砂で埋め戻されており、その土砂を処分するため土壌の分析調査を実施したところ、既に確認されていた「鉛及びその化合物」の他に、「砒素及びその化合物」、「ベンゼン」及び「ダイオキシン類」が検出されました。

貯じんピットが残置されたこと、貯じんピット内部から汚染物質が検出されたことについて原因を究明し、今後の対策とするため、当時の職員にヒアリングをしたので報告します。

2. ヒアリング内容

別紙のとおり

3. ヒアリング結果まとめ

(1) 貯じんピット残置について

- ・貯じんピットを擁壁として使用した可能性はある。

(2) 運転状況について

- ・灰バンカに入ったものを貯じんピットに戻すということはしていない。
- ・灰バンカに入ったものはすべて埋め立て場に搬出していた。
- ・貯じんピットの汚水はポンプアップして、沈殿槽に送っていた。
- ・沈殿槽の灰・汚泥は、すべて埋め立て場に搬出していた。
- ・当時のごみの分別は、燃やすごみ、埋め立てごみの2分別であり、燃やすごみのなかになんでもかんでも混入していた。(家庭で燃やした灰・農薬・ペンキ等)
- ・ごみが燃えなかったため、常にバーナーで燃焼していた。それでも燃えなかったため、焦がした程度で埋め立て場に搬出していた。
- ・建屋から煙が出ているときもあった。

(3) その他

- ・解体の際、貯じんピットは空にして埋め戻したと思われる。(ごみを貯じんピットに埋めたということとはしていないと思う)

4. 考察

貯じんピットを残置した理由は、擁壁として利用するためであったかもしれない。

汚染物質の原因については、貯じんピットのごみは空にしたと思われるが、当時のなんでもかんでも入っていた燃やすごみが壁や床板に付着しており、除去しきれていないとすると、それが原因で汚染物質が検出された可能性がある。また、埋め戻し土の由来については不明であるため、どのような土を埋め戻したかわからない。貯じんピットへの灰・ごみの埋め戻しはなさそうであるため、それが原因ではないと思われる。

旧清掃工場聞き取り調査

R7.1.14（火）14時～

■ ※旧ごみ焼却施設へ燃やすごみの搬入を行っていた方

- ・当時の操業状況について詳しい人は、■さん、■さん、故■さん、故■さんだと思われる。
- ・旧清掃工場を操業していた際、焼却灰は植田の最終処分場に搬出していた。
- ・焼却灰の運搬については、おそらく直営で行っていた。
- ・当時の分別は、燃やすごみと埋立てごみの2種類で、燃やすごみは全て旧清掃工場で燃やし、埋立てごみは植田の最終処分場で埋立てを行っていた。
- ・灰等の埋立てを行っていた場所は、植田の交差点を曲がってすぐ左手の雑木林になっている箇所である。
- ・植田の最終処分場は、カラスとハエ等が多く、環境は劣悪であった。
- ・旧清掃工場は、臭いがひどかった。
- ・旧沼津市中継・中間処理施設があった場所に、衛生課（現収集課）の事務所及び収集車両の駐車場があり、併せて、缶をプレスする機械があった。
- ・資源ごみ中間処理場（缶ペコ）が完成してからは、そちらで、缶の処理を行うようになった。

R7.1.15（水）9時～

■ ※昭和53年から衛生課職員として退職まで従事

- ・当時の衛生課は、今の庁舎別館地下にあり、5年程度そこで勤務した後に、現清掃プラント3階事務所に移転となった。
- ・旧清掃工場のことは、あまりわからない
- ・パンフレットの通り、収集車の入り口は、山沿いにあった。
- ・廃家電の処理を旧沼津市中継・中間処理施設で行っていた。

R7.1.15（水）10時～

■ ※現清掃プラントの建設工事の担当（建築）

- ・現清掃プラントの建設を担当していた。旧清掃工場解体は、建設工事で忙しかったため、煙突の解体のみは担当した。建物の解体は、竹本さんが担当していたと思う。
- ・煙突はすべて撤去したと記憶している。

R7.1.15（水）11時～

【竹本幹男】 ※昭和50年代に在籍していた建築職員

- ・旧清掃工場の解体工事は担当していないので、■■■■さんの勘違いだと思う。

R7.1.16（木）10時30分～

■■■■ ※旧ごみ焼却施設の運転に従事、現清掃プラント機械設備工事の担当（機械）

- ・旧清掃工場では、完全に燃えることなく、焦がした程度で埋立て場に搬出していた。
- ・当時は、ごみが燃えなかったため、常にバーナーで燃焼していた。
- ・灰バンカに入ったものを貯じんピットに戻すことはしていない。
- ・10年しか使用しなかったのは、想定以上（当時は高度経済成長期）にごみの量が増えて処理しきれなかったと思われる。
- ・当時は、分別が燃やすごみと埋立てごみしかなく、なんでもかんでも燃やすごみに入っていた。その中に、家庭で燃やした灰であったり、農薬であったり、ペンキも入っており、貯じんピットが残っているとなると、それらが原因で汚染物質が出る可能性がある。
- ・ごみを入れたまま埋め戻すことはしていないと思う。
- ・貯じんピットの汚水はポンプアップして沈殿層に送っていた。
- ・沈殿槽に入った、灰・汚泥は、埋立て場に搬出していた。
- ・貯じんピットを資源ごみ中間処理場（缶ペコ）の擁壁として残した可能性はある。
- ・新中間処理施設の候補地として、芝浦グラウンド・双葉建設（沼津国際カントリ一東側）・内浦重須の山・富士の境の市有地が上がったが、実現にはいたらなかった。
- ・現清掃プラント稼働3年間程度は、1炉150t/日燃やすことが出来ず、100t/日程度しか燃えなかった。
- ・旧清掃工場の解体担当者は、事務方が発注していたと思われるが、誰が担当であったかわからない。
- ・資源ごみ中間処理場（缶ペコ）の建設は、おそらく収集課長の■■■■さんが担当していたと思われる。
- ・炉内温度はわからないが、前段は紙類が燃えるため温度は高く、後段の温度は低かったと思われる。

R7.1.16（木）14時00分～

■ ※旧清掃工場の運転及び現清掃プラントの運転に従事

- ・旧清掃工場では、完全に燃えることなく、焦がした程度で埋め立て場に搬出していた。
- ・当時は、ごみが燃えなかったため、常にバーナーで燃焼していた。
- ・灰バンカに入ったものを貯じんピットに戻すことはしていない。
- ・当時は、分別が燃やすごみと埋立てごみしかなく、なんでもかんでも燃やすごみに入っていた。
- ・ごみを入れたまま埋め戻すことはしていないと思う。
- ・貯じんピットの汚水はポンプアップして沈殿層に送っていた。
- ・沈殿槽に入った、灰・汚泥は、埋め立て場に搬出していた。
- ・貯じんピットを擁壁として残した可能性はある。
- ・旧清掃工場は、3班体制、1班5人で24時間運転をしていた。
- ・日曜日は、燃やしていなかった。
- ・年末年始はごみが多く、貯じんピットに入りきらないため、外までごみがあふれていた。（一部ダンプに入らないごみを積んでいた）

R7.1.16（木）15時30分～

【山本宏】 ※旧ごみ焼却施設の運転に従事、現清掃プラントにて破碎を担当

- ・旧清掃工場では、完全に燃えることなく、焦がした程度で埋め立て場に搬出していた。
- ・当時は、ごみが燃えなかったため、常にバーナーで燃焼していた。
- ・灰バンカに入ったものを貯じんピットに戻すことはしていない。
- ・貯じんピットを擁壁として残した可能性はある。
- ・焼却炉内の温度は、500℃～600℃程度だと思われる。

R7.1.21（火）10時00分～

■ ※昭和50年代に在籍していた建築職員

- ・主に学校関係を担当していたため、旧清掃工場のことはわからない。
- ・現清掃プラントの建築は■さんが担当していた。
- ・資源ごみ中間処理場（缶ペコ）の建設は、■さんが担当だと思われる。

R7.1.22（水）10時00分～

■ ※現清掃プラントの元所長（平成17年度～平成19年度）

- ・焼却場に携わったのは、昭和60年度以降になるので、当時のことはよくわからない。私が配属になったときは、資源ごみ中間処理場（缶ペコ）も古く、現清掃プラントも老朽化がひどかった。
- ・沼津市内の埋立て場の資料は、私が作成した。どの場所に、どの期間埋め立てていたという記録が引き継がれていれば残っていると思う。旧清掃工場の場所にごみを埋め立てたということはない。
- ・当時のことを詳しいのは、■さん、■さん、■さんだと思う

R7.1.24（金）9時30分～

■ ※旧資源ごみ中間処理場（缶ペコ）の建設担当

- ・旧清掃工場の煙突の塗装を担当した。
- ・資源ごみ中間処理場（缶ペコ）の上屋を担当した記憶はある。1期工事を担当し、その後増築していると思われる。
- ・貯じんピットを擁壁として残した可能性はある。実際はわからない。
- ・ごみを埋めたことはしていないと思う。
- ・旧清掃工場の解体のことはわからない。

R7.1.24（金）12時00分～

■ ※現清掃プラント建設時の土木担当、現清掃プラントの元所長（平成15年度～平成16年度）

- ・現清掃プラント建設のための造成、外原配水路の建設を担当した。
- ・搬入路の勾配を確保するため、市道の位置を変更した。
- ・旧清掃工場、資源ごみ中間処理場（缶ペコ）は携わっていないのでわからない。
- ・旧清掃工場は、建屋からも煙が出ていた。